

はちろうがた

令和3年7月1日発行

第148号



議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80 TEL 018-875-5810

6 月定例会

白熱した体育祭



目次

2	6月定例会
3～8	一般質問
9	各常任委員会の審議
10	広域組合議会報告／全員協議会
11	提出議案／臨時会／陳情
12	私たち頑張っています！／議会のうごき

6月定例会

6月定例会は、6月7日(月)から11日(金)までの5日間にわたり開かれました。審議した議案は、条例関係6議案、補正予算関係4議案、人事案件議案1件、報告2件と議会運営委員会発議の議会会議規則の一部改正1議案で、いずれも原案とおり可決されました。

令和3年度 一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ**4,686万3千円**を追加し、
歳入歳出予算の総額を**41億7,086万3千円**としております。

歳入

・子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金	295万円追加
・自治総合センターコミュニティ助成金(町内会ほか2団体)	550万円追加
・地域活性化センター助成金	150万円追加
・前年度繰越金	2,875万7千円追加

歳出

・一般コミュニティ助成事業助成金(町内会備品購入)	254万9千円追加
・青少年健全育成助成事業助成金(異業種交流会メビウス)	100万円追加
・活力ある地域づくり助成事業助成金(プロジェクト8)	200万円追加
・地域活性化センター助成事業費補助金(地域振興協議会)	150万円追加
・公共施設等総合管理計画改訂版策定支援業務委託料	943万2千円追加
・低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金	295万円追加
・消火設備等負担金	267万8千円追加
・学校体育館2階西側外壁等改修工事	399万3千円追加

《主なもの》

令和3年度 公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ**889万4千円**を追加し、
歳入歳出予算の総額を**3億1,368万9千円**としております。

《歳出の内容》

・汚水管渠築造工事	502万7千円追加
・マンホールポンプ修繕工事	360万4千円追加

令和3年度 上水道特別会計補正予算(第1号)

《支出の主なもの》

収益勘定	
・低濃度PCB廃棄物収集運搬処理	14万3千円追加
資本勘定	
・消火栓更新設計業務委託	49万5千円追加
・羽立地区消火栓修繕	58万1千円追加
・真坂地区消火栓更新工事	160万2千円追加

【議決された条例等の主な内容】

○介護保険関係条例の一部改正(4議案)

4議案につきましては、国の指定居宅サービス等の基準の改正を踏まえ、感染症の予防等のために必要な措置を義務付けるなど、所要の改正を行ったものです。

○八郎潟町道路占用料徴収条例の一部改正

道路法施行令の改正に伴い、占用許可に係る施設に自動運行補助施設を追加したものです。

○八郎潟町営住宅条例の一部改正

町当中嶋住宅建設等に伴い、地番を変更するものです。

○八郎潟町議会会議規則の一部改正(議会運営委員会提出議案)

男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前8週間・産後8週間の欠席期間を規定したものです。

また、請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続きについて押印の義務付けを見直しました。

6月定例会 一般質問

5議員が町政に対し質問

6月8日の本会議において一般質問が行われ、5議員が質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。



◆ 質問者

石井 清人 議員（一括質問一括答弁）

- 1、通称五城目街道の拡幅をいつか実現してほしい
- 2、自転車保険を「秋田県市町村総合事務組合」でつけれないか

金 一義 議員（一問一答）

- 1、第6次八郎潟町総合計画における後期基本計画について
- 2、農業後継者対策について
- 3、職員にまちづくり研修と参加を

北嶋 賢子 議員（一括質問一括答弁）

- 1、駅東側の分譲開発を
- 2、特産品は地域おこし協力隊の活用を
- 3、RCEP（アールセップ）協定とは

柳田 裕平 議員（一括質問一括答弁）

- 1、6か所から1か所になった選挙投票所について

小柳 聡 議員（一問一答）

- 1、新型コロナワクチン接種における課題は
- 2、少子化時代に沿った部活動の在り方を



一般質問とは

一括質問一括答弁方式の場合、質疑は特別な場合を除き3回を超えることができない。一問一答方式の場合はこの規定は適用しない。

また、延会、中止、又は休憩のため発言が中断したときは、会議の再開により前の発言を続けることができる。

一般質問

通称五城目街道の拡幅を いつか実現してほしい



石井 清人
議員

問 町では通称五城目街道の混雑解消を目指して13年の歳月と約27億円の経費を掛けて平成17年に町道中央線を開通させました。町道中央線は町のメイン道路となっており、このため通称五城目街道の車の通行量は以前よりは少ないように思えます。しかしあえて申述べればいつか拡幅に着手してほしいという思いがあります。なぜかと言えば歩行者の安全が保たれていないことが心配だからです。歩行者は道路両側の幅50センチの側溝蓋の上を歩いています。通称五城目街道の拡幅という意味は北側に歩道を作る案であります。車道幅



五城目街道

員を今のままにして歩道だけの設置だと用地取得幅もそんなに大きくないと思います。今も道路蓋の上は歩きづらいという方もいます。是非今後の町の政策の一つに挙げてください。

そうしてもう一ついつか解消してほしいのは荒地踏切の拡幅です。車で通るときに列車通過があれば踏切の手前で待っています。遮断機が上がると車を発進させますが、そのときに歩行者が踏切横から踏切内に入ってくる場合があります。いつかJR東日本と懇談

の機会があれば改善のお話ししていただければありがたいと思います。

町長 通称五城目街道に道路構造令による2メートル幅の歩道を北側に設置した場合は南側の半分の家屋補償が想定される。歩行者、自転車の現状の交通状況を見ると歩道設置は望ましいが家屋保障や用地取得に多大な事業費も必要となる。また踏切拡幅するには歩車道分離が望ましいもののJRへの委託事業となり多大な事業費となる。町道道路整備計画への位置づけとしては慎重に見定める必要がある。

自転車保険を「秋田県市町村総合事務組合」でつくれないか

問 山形県では条例により2020年7月1日から自転車保険への加入が義務化されました。背景には全国各地で自転車による交通事故が発生し、相手方を死傷させてしまい高額な賠償請求を命じられる事例が発生してい

ることにあります。

いま自転車保険に入ろうとすればコンビニの店内にパンフレットが置いてありますので備え付けの機械で手軽に加入することができず。またインターネットでも加入できません。しかし今年4月の新聞では政府目標として自転車保険加入率を75%に引き上げる目標を打ち出すとあります。そのうち秋田県も自転車条例を制定するだろうし、そして市町村の中にも条例化する動きが出てくると思います。そうした状況で自転車保険の加入をより一層高めるためには手軽に加入できるように仕組みを作らないと加入率向上には程遠いと感じます。私が着目したのは秋田県市町村総合事務組合の「秋田県市町村交通災害共済・不慮の災害共済」です。毎年、年が明ければ全戸に役場を通じて「秋田県市町村交通災害共済・不慮の災害共済」の加入申込書が届きます。県民全員の目に留まります。私はこれに新たに自転車共済を新設することができれば加入率は格段に向上するのでは

ないかと考えます。

町長 秋田県市町村交通災害共済では入院・通院期間の共済金は支払われるが損害賠償はない。本町の加入率は令和元年度で交通災害19・3パーセント、不慮の災害17・6パーセントです。2019年の全国の自転車関連事故は80,473件、うち死亡事故が436件、秋田県は176件、うち死亡事故3件ある。秋田県市町村総合事務組合に照会したところ損害賠償の新設は考えていないとのことでした。

再質問 自転車にぶつけられてけがをした場合に、病院に行ったら「自転車にぶつけられてけがをしました。」と言った際、健康保険(国保)は使えるものでしょうか。

保健課長 自動車事故と同じく第3者行為となつて加害者の負担となる。被害者が病院に行った際、健康保険(国保)では3割自己負担、7割を病院が立て替える。ただし「第3者行為による傷病届」を出さないといけない。レセプトが届いた段階で調査を行い、国保連が加害者に請求します。

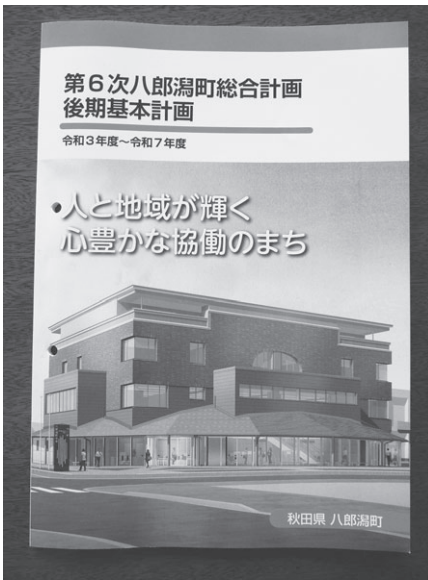
一般質問

第6次八郎潟町総合計画の後期基本計画は



金 一義 議員

問 現在平成28年度から10年間にわたる第6次八郎潟町総合計画を策定中ですが、令和7年度を目標準次にしている。その基本計画の見直しについて、現状分析を行ったうえで後期基本計画を策定されたとあります。前期基本計画においての基本目標の達成の度合い、問題点、課題等をどのように整理され後期基本計画に新規主要施策の計画の取り組み等がありましたら説明下さい。



後期基本計画

町長 前期基本目標達成度合いについては、それぞれの基本施策ごとの成果指標の目標値に対する、令和元年度までの実績又は令和2年度までの実績見込みで判断している。その結果目標を達成できなかったもの、状況の変化により、現状にそぐわなかったものを課題として、成果指標の変更、目標値も見直しをしております。後期基本計画における新規主要施策の取り組みと進め方については、各分野ごとに掲げた主要施策の実現に向けて取り組み年度ごとに事業実績を確認し、課題を整理して次年度以降に反映させ事業の実現化を図ってまいります。

我が町の農業後継者対策についての考え方は

問 基幹産業を農業と指定している本町の農業に対する今後の町の取り組みについてはいまだ不安な部分があります。

本町も人口の高齢化にともなって、農業の従事者も高齢化が進んでいきます。あるデータによりますと2019年の農家人口は168.1万人で、70・2%が65歳以上で70歳までの農家が7割であるとなります。我が町も例に洩れず、後継者問題で苦慮している農家もあります。そこで本町の専業農家の戸数と、後継者のいる数としない農家の把握を示してください。また本町の後継者、新規就農者の確保対策の行政対策と農地中間管理機構の機能も併せてお知らせ下さい。

どのような経営体を中心となつて、地域農業を引っ張っていくのか、どうやって中心となる経営体に農地を集めていくのか、アンケート調査を行っております。回収率は59・1%で正確な数はわかりませんが、後継者のめどがついているとの回答数は237名中、80名でした。町では人・農地プランを作成して6地域に分けてその中で今後地域の中心となる経営体を掲載しています。この中で個人の中心経営体となる人は76名、うち専業農家は57名、そのうち後継者のいるとの回答は32名でした。後継者問題では、県や国の後継者対策による補助事業を活用している。農地中間管理機構は本町ではあまり活用されていない。

職員にまちづくり研修と参加を

問 これからの自治体は、自らの創意と工夫によって個性豊かなまちづくりを進めなければならぬと言われ、10年後に

は自治体の取り組みいかんによっては、自治体間に相当の格差がつくだろうと言われております。まちづくり活性化のためにも、若手の職員をまちづくりの各視察研修に派遣することについて提案します。地方創生が叫ばれて久しいが、また民間団体や住民が協力してまちづくりに取り組んでいく事例を見ることが、職員の視点を見ることが、職員の見聞を広げ、職員の機会にも大いに役立つと思えます。

町長 町村会が主催する各階層別の自治研修や自治研修所が主催する能力開発研修、市町村中央研修所が主催する市町村アカデミー研修に参加している。その他民間企業へ依頼して実施する職員接遇研修や、先進地等への県外研修の予算を計上しております。若手職員がまちづくりに知見を広め、これを試行錯誤しながら実務に反映していくことは職員としてのやりがい高め、資質の向上につながり、個性豊かなまちづくりに繋がります。

一般質問

駅東側の分譲開発を



北嶋 賢子
議員

問 町の総合戦略改定版を読みました。人口増は、各々の自治体でも喫緊の課題です。恒例の小学校3年生の畑の見学は23人と言う。人口増のための良策は、地の利の良い所に、安価の分譲地だと思いません。空家対策でリニューアルも必要と思えますが、これから子育てをする若い夫婦の感性は、私たちの想像以上だと思います。

町長 本町における宅地分譲は平成10年に大道団地を最後に20年以上行っていない。人口減少社会に加え、生活様式の多様化が進んでいる中で、宅地分譲は周辺市町村の状況や交通の便、就

労の状況、生活環境や利便性、分譲価格等、住宅市場の動向を充分に見極めて慎重に進める必要があり駅東側の宅地分譲は現段階では考えてない。

特産品は地域おこし協力隊の活用を

問 今年も田んぼアートの季節が巡って来ましたが。コロナ禍の中でも、多くの人々に晴れやかな気持ちになって欲しいと思います。いつも思うの

が特産品の開発。集落では、この後、スゲの刈り干し作業をします。藁がなくなった今、そのスゲで民芸品が作れないだろうか、と思いました。民芸品の作り手がいなくなった今、地域おこし協力隊の協力を得て、作り置きした民芸品は、素敵なおみやげになると思いますが。

町長 かつて高岡小学校の跡地に農家高齢者創作館があり、地域の高齢者の方々が集い、郷土の民芸品として、藁ぐつやミニボンデン等を作っている

た事を記憶している。民芸品だけでなく、専門的な知識を有した、地域おこし協力隊の確保に向けて検討する。

RCEP(アールセップ)協定とは

問 4月28日、参議院の本会議でRCEP協定の承認案が与野党の賛成多数で採択となりました。TPPは100時間も要したのに、わずか8時間の審議でした。全農協労連の委員長は、「農業を犠牲にしてまで自動車産業を成長させるやり方に大きな疑問がある」と指摘。北海道では、関税を無くされては、農業に最大の影響が出ると反対を表明。野菜・果物は、巨大な生産国、中国から424万tも入り、安全性が心配です。地球上で食糧難が叫ばれているのに、日本が買いあさっては、途上国への加害国と

なる危険もあります。本町の農業との関連はあまり無いかも知れませんが、あれよ、あれよと国民の知らぬ間に通されては、明日の日が恐ろしく思います。安全な食料は日本の大地からを心して農作業をしたいと思いません。

町長 参加国は、アセアン10ヶ国に、日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランドの15ヶ国からなり、自由な貿易、参加国全体で工業製品、農林水産品含め、91%の品目で関税が撤廃されている。中でも中国が最もメリットが大きく、中国が中心の世界最大の自由貿易と言われている。粗悪な品が入って来やすくなるデメリットもあり、日本の農家には安全で安心な食料を作ってもらいたいと思う。



わらぐつ

一 般 質 問

6か所から1か所になった 選挙投票所



柳田 裕平
議員

令和元年の12月定例会でも、その経緯と考え方について質問をしております。

投票所を1か所にしてから3回の選挙が行われていますが、残念ながらその全ての選挙に於いて投票者数・投票率が下回っていたようです。

特に重要な「町長選」では、18〜30歳代までの若い世代と85歳以上の高齢者層で投票者数・投票率が下がっていたのが際立っていたようです。

その点で、改善に向けた取り組みが必要であるとの考えでございます。

其々3回の選挙では投票所のことが影響してなかったのか、今後の投票所の在り方など町民が知

りたい肝心なところの説明が足りないように感じておりますがどうでしょうか。

また、町長選後の令和2年10月でしたが、「今後はせめて期日前投票でも無料送迎を行うか、町東部に投票所を設けるなどの工夫が無ければ、投票率が下がっていくのでは」との70歳代町民の話しを魁新聞で取り上げておりました。

何と言っても、選挙権は有権者に与えられた権利であります。

より投票しやすい環境で、より多くの方が投票し、その結果としてあらゆるところに民意を反映することが大事であると考えます。

そこで、選管事務局である町当局にお伺いいたします。

問 投票所のことが3回の選挙に影響したのかどうかについて、どのように受け止めているか。

総務課長 全国的な投票

率の推移は年々下落傾向にあります。

この度の3回の選挙では、全体的にも上・中位の投票率でありました。五城目町・井川町と比較しても上回っております。

このようなことから、投票所を1か所にしたことでの投票率への直接的な影響はないものと分析しております。

問 投票者数と投票率を上げるための具体策は。

総務課長 明るい選挙推進協議会が行っている啓発活動の充実を図りながら継続して参ります。

投票日当日に実施している「はちバル」への移動支援については、期日前投票期間についてもタクシー等による送迎などといった見直しを検討して、全体投票率の向上に努めたいと考えております。

問 選管で決まったことや話し合われた重要なことについては、選管事務

局である町当局の判断で町民に周知できないのか。

無料送迎をすることなど、有権者に関わることについては、町広報などでお知らせしております。



はちバル投票所

一般質問

新型コロナワクチン接種 における課題は



小柳 聡
議員

自治体としてより良い接種体制を構築することは高い関心を持っている町民の皆さまにとっても安心の材料になるうかと思えます。コロナワクチン接種開始日に会場にお邪魔させていただきましたが、集団接種初日としてはある程度上手く回っていたのではないかと感じました。もちろんその中で見えてきた課題もあったのではと推察しておりますが、町民の方にとって関心の高いテーマを取り上げて参りたいと思います。

問 現在までに当日キャンセル等は何件あったか。

町長 5月22日までの第一クルールの予約者810人の内、前日までのキャンセルセルが3人、当日の発熱等によるキャンセルセルが2人おりました。5人分のワクチンについてはキャンセルに備えて事前に把握しているキャンセル対応者から会場に来ていただき接種しております。



新チームになると13人から5人へ変わる男子バスケット部

少子化時代に 沿った部活動の 在り方を

八郎潟中学校では現在の3年生までは概ねの期間は2クラスで推移して

す。

問 当局としてキャンセルが出た場合の対応は優先順位をつけ意思表示をすべきではないか。

町長 急なキャンセルに備え事前に第二クルール以降接種予定者の内、即時接種が可能で年齢が上の方を優先して確保しながら対応することとしております。

問 申し込み方法に課題はなかったか、また若い世代が増える一般接種においてはインターネット予約を加えてはどうか。

町長 65歳以上の予約は電話予約のみとしておりましたが、64歳以下の接種予約については電話予約に加えインターネットによる予約も実施して参りたい。

.....

おりましたが、現在の2年生以降は今後1クラスで推移していくことが現実となりつつあります。生徒の減少が一番の問題ではありますが、それに付随してクラスの数が減少することにより先生の数も減ることから、過去と比較すれば部活動の数は減少していませんので先生の負担割合は増加している可能性があります。

今まさに総体が終わることによって2年生・1年生による新チームとしてそれぞれスタートを切るわけですが、新チームに移行した場合、伝統ある野球部に於いても現状の部員が残ったとしても部員は5人となり試合が出来る人数を単独チームとして組めず、また近隣の井川や五城目でも同じ

ように2学年の新チームでは単独チームで試合が出来ないといった事態になりそうです。男子バスケット部も新チームは5人で活動していかなければいけません。交代枠も少なく、仮に怪我や病気で休む選手が出れば試合が出来ない日々が続きます。

.....

問 総体を控える中でどのチームも新1年生に依存する割合が増える説明を

町長 時間帯等、体験入部制度の条件緩和を早急に検討できないか。

教育長 入学後、部活動紹介を経て一週間程度の体験入部期間を設定しております。無理にならないように5時半頃までの活動としている。中には物足りなさを感じている生徒も少なからずいるものと認識。議員が提案する希望者にもう少し長い時間体験できないかという事については可能なものか学校に相談をさせていただきます。

.....

くお隣の井川義務教育学校では体験入部を12月に設定し、同月から中学の部活動への参加が可能な実例等を説明し、

.....

スポ少引退後は中学校の部活動の先生と相談し

て柔軟に練習参加が可能になれば、人数が増えることで出来る練習メニューが増えたりしますし、生徒にとっても新たな環境で刺激になると考えます。

問 スポ少を引退し、中学に入学するまでの移行期間における部活動への参加を柔軟にしてほしい。

教育長 小学6年生がスポ少を終えて中学の入学まで長い期間になっている事は承知している。中学校の活動に支障がなければ早く一緒に活動させたいものだと思っております。しかし、これを実現させるにはある程度の条件整備が必要となる。指導する中学校側の監督・コーチの了承を得ていること、部活動内での小学生の活動は学校管理下外となるのでスポ少で加入済の保険とは別種類のスポーツ安全保険に加入すること、校長の承認をいただくこととなります。

.....

関連してこのような質問をしました

○合同チームに対する考え方について

○外部指導者と部活動指導員制度について

各常任委員会の審議

総務産業 常任委員会

● 条例の一部改正議案 2件

● 補正予算関係議案 4件

● 陳情 1件

◆補正予算審議

※総務課関係

問 備品購入の債務負担行為について、入札は何社程度を想定しているのか。

答 各課からのヒアリングを進めながら購入する備品を選定するが、庁舎完成後から5月の連休までに搬入・設置となり、納期を考慮すると1社への発注では厳しいと考える。今後、備品の種類ごとに分割して発注することなどを検討する。

問 県道大川線の改修工事は県道を町が工事する場合は、県が指定する業者なのか。

答 新庁舎建設に伴い県道の乗り入れ口が変わるため、道路管理者である県と協議し、町発注工事として実施するもので業者は町で指名する。

※産業課関係

問 雪害対策の農業費補助金は県補助が優先ということか。

答 国庫補助が優先となる、国庫補助として採択とならなければ県の補助金に向かう流れである。

◆水道特別会計 補正予算審議

問 消火栓の設置場所について、民地か官地か調べているか。

答 町民課と連携して

確認し、現在町で設置した消火栓は全部で46箇所である。そのうち23箇所が民地だと思われる。今後承諾書などを取り交わす措置を検討する。

■3月定例会で年間を通し継続して審議するとしていたNPO法人はちらほ補助金については主に

- ・指定管理者に対する町づくり活動センター管理運営委託料の在り方について
 - ・新規大型店舗の出店による環境変化の中での対応について
 - ・買い物弱者対策の現状と今後の考え方について
- など、その他多数の意見を基に議論をし、今後引き続き協議していくことにした。

教育民生 常任委員会

● 条例の一部改正議案 4件

● 補正予算関係議案 1件

● 陳情 1件

◆条例審議

八郎潟町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例審議

問 質の高いマネジメントを推進するため、今後どのように進めるのか。

答 介護関連データを収集し、計画書等に基づいた取り組みの評価と改善点を検証し、推進する。

◆補正予算審議

問 文化財保存整備事業補助金は、神社に交付しても問題はないのか。

答 町教育委員会補助金交付要綱では、町指定文化財には対象経費の2分の1、限度額50万円まで補助することができ、町指定文化財となっていない神社への交付は問題ない。なお補助対象は維持

管理及び修理費分、食糧費、祭祀行為の経費は除かれる。

問 学校体育館2階西側外壁等改修工事の期間中、体育館西側道路を通行止めにする予定か。

答 現段階ではわからないが、足場を組んで工事することから、通行止めの可能性はある。工事の際に業者と打ち合わせする。



西側外壁等補修箇所

広域組合議会報告

八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会

石井 清人 議員（報告者）
北嶋 賢子 議員・畠山 一充 議員

令和3年3月23日八郎潟町役場3階会議室において、令和3年八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会3月定例会が開催されました。

議案に先立ち管理者から行政報告があり前年同期と比べ、し尿・浄化槽汚泥合わせて約13パーセントの減となっており、また五城目町分を含め1日当たり平均処理量は4・07キロリットルであります。

議案第1号「令和2年度八郎潟町・井川町衛生処理施設組合一般会計補正予算（第2号）」については五城目町からの汚泥処理受託の減になったことから歳入で149万4千円の更正を行ったこと、施設管理費の機器整備委託に522万4千円の追加を行ったことが主

なものです。全会一致で原案通り可決いたしました。

議案第2号「令和3年度八郎潟町・井川町衛生処理施設組合一般会計予算について」は歳入歳出総額で5,542万1千円としております。歳入の主なものは八郎潟町、井川町両町の負担金が1,941万8千円、五城目町からの受託事業収入が3,510万9千円です。歳出の主なものは

一般管理費の person 費等に688万6千円、財政調整基金積立金に1,200万円を計上してあります。施設管理費では各種機器保守管理等の委託料1,966万2千円、消耗品・光熱水費等に771万1千円を計上してあります。また予備費には100万円を計上しております。全会一致で原案通り可決いたしました。

去る3月24日午後3時より湖東地区消防本部会議室において令和3年度第1回湖東地区一部事務組合議会定例会が行なわれました。

湖東地区行政一部事務組合議会

村井 昇 議員（報告者）
小柳 聡 議員・伊藤 敦朗 議員

次に職員の定年退職に伴い2名の方を4月1日付採用することの説明がありました。

議案は1議案で令和3年度の一般会計予算についての説明があり歳入・歳出ともに6億6,308万5千円となり、前年対比1,507万円増と2・33%増となりました。組合の構成市、町からの分担金及び負担金は前年対比736万円で1・17%減となりました。また歳出においては人件費が歳出全体の76・9%で5億969万6千円になっております。物件費は11・5%で7,620万8千円、建設事業費は7・1%で4,68

7万6千円が計上されました。このことについて審議され賛成多数で承認されました。また昨年1年間の災害発生状況についても報告があり火災については7件発生し、そのうち八郎潟町は3件で死者2名がでております。救急車の出動件数は874件で八郎潟町は265件になっております。斎場の使用状況は503件の使用があり内組合区域外の使用が148件となっております。

八郎潟町の議員改選があったため役員の改選が行なわれ、議長に潟上市の小林悟議員、副議長に井川町の松田弘咲議員が選任されました。

八郎湖周辺清掃事務組合議会

京極 幸村 議員（報告者）
金 一義 議員

八郎潟町では100件の使用です。また動物炉の使用状況は173件で八郎潟町では25件の使用状況との報告がありました。

次に「監査委員の選任について」は、本町の金一義氏の選任案が満場一致で可決されております。識見を有する監査委員として井川町の藤田馨氏の選任案が満場一致で可決されております。

令和3年3月23日、八郎湖周辺クリーンセンターにおいて八郎湖周辺清掃事務組合議会3月定例会が開催されました。議案は「令和3年度一般会計予算について」と「監査委員の選任について」

「令和3年度一般会計予算について」は、当初予算の歳入歳出総額は5億6,964万6千円です。前年比292万9千円、0・5%の増であります。

歳出の主なものとして、修繕料として8,057万5千円を計上してあります。また処理施設運転業務委託として1億6,192万円のほか、各種検査業務、保守点検業務委託など委託料全体で2億143万7千円を計上してあります。そのほか公債費元利償還金として1億6,056万2千円を計上してあります。満場一致で原案通り可決しました。

次に「監査委員の選任について」は、本町の金一義氏の選任案が満場一致で可決されております。識見を有する監査委員として井川町の藤田馨氏の選任案が満場一致で可決されております。

議会全員協議会

令和3年5月31日開催

《協議案件》

・6月定例会に提出する議案の主な内容について

令和3年 八郎潟町議会6月定例会 提出議案等結果報告

議案番号	審議案件	結果
議案第30号	八郎潟町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第31号	八郎潟町指定介護予防支援の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第32号	八郎潟町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第33号	八郎潟町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第34号	八郎潟町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第35号	八郎潟町営住宅条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第36号	令和3年度八郎潟町一般会計補正予算(第2号)について	全員賛成可決
議案第37号	令和3年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れについて	全員賛成可決
議案第38号	令和3年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第39号	令和3年度八郎潟町上水道特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第40号	八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(佐藤 直俊 氏)	全員賛成同意
報告第1号	令和2年度八郎潟町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
報告第2号	令和2年度八郎潟町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
発委第1号	八郎潟町議会会議規則の一部を改正する規則について	全員賛成可決

第3回 臨時会

令和3年
5月14日開催

議案等

- 令和2年度八郎潟町一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認を求めることについて
▶▶ 全員賛成承認
- 令和2年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて
▶▶ 全員賛成承認
- 八郎潟町町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて
▶▶ 全員賛成承認

- 固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて
▶▶ 全員賛成承認
- 八郎潟町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
▶▶ 全員賛成可決
- 令和3年度八郎潟町一般会計補正予算(第1号)について
▶▶ 全員賛成可決
- 工事の委託に関する協定の締結について(奥羽本線八郎潟駅構内ふれあいロード橋補修工事)
▶▶ 全員賛成可決

陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	本会議結果	付託委員会
2	令和3年5月12日	陳情	秋田市	秋田県教職員組合 執行委員長 櫻田 憂子	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採択	教育民生
3	令和3年5月13日	陳情	男鹿市	連合秋田男鹿潟上南秋 地区連絡会 議長 太田 修	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情	採択	総務産業

明るく住み良い地域づくりをめざして

八郎潟町婦人会 会長 佐藤 操 (写真：前列中央)

日ごろ町民の皆様には大変お世話になっております。特に「複十字シール募金運動」や地域で行う「結核予防教室」では、地域の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

婦人は、町からご支援を受け、町内の婦人(女性)有志が全国的組織の中で他団体と連携をしながらボランティアで活動している社会教育団体です。

- ・婦人の教養を高める
- ・明るく豊かな地域社会の建設に協力する
- ・新しい時代に即応する生活の創造

などを目的として多岐にわたって活動しております。

奉仕活動に関心のある方、お仕事退職された方、婦人会で活動してみませんか。現在会員54名。年齢に制限なし。随時入会可。

コロナ禍の影響で、親睦を深める楽しい行事や福祉ボランティアは規模縮小・休止が続いている中、コロナ禍でも実施している貴重な会員研修が次の二つです。

- ・町長さんの講話～八郎潟町の情勢について～質疑応答あり
- ・八郎潟町議会3月定例会一般質問の傍聴会

この研修は、町政に関心を持ち、私たちに出来る事は何か探る貴重な研修です。今後も継続して参ります。

人と地域が輝く心豊かな協働のまちづくりは、老いも若きも持てる力を出し合い創造力を高め次世代に繋げていくことではないかと考えつつ活動しております。



私たち！ 頑張っています！

八郎潟町婦人会



▲6/3 ロマンの里 草取り・花植栽

◀智恵の鳥ふくろう

**掲載希望団体
募集中
です**

- 各種団体のグループ(任意も含)
- スポ少や部活動のチーム
- 特別な成果を挙げた個人等

▼お問い合わせ▼

E-mail : gikai@town.hachirogata.lg.jp

委員長 小柳へ

議会のうごき

4月

- 7日 小学校入学式 (9:30) (議長)
- 中学校入学式 (14:00) (議長)
- 20日 例月出納検査 (監査委員)
- 26日 八郎潟町芸術文化協会芸術文化章表彰式 (議長)
- 27日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会定期総会 (議長)

5月

- 10日 秋田県町村議会議長会理事会 (議長)
- 秋田県町村電算システム共同事業組合臨時会 (議長)

- 14日 第3回臨時会
- 18日 例月出納検査 (監査委員)
- 28日 議会運営委員会、広報編集委員会
- 31日 議会全員協議会

6月

- 7日 議会定例会 (11日まで)
- 9日 東京2020オリンピック聖火リレーミニセレブレーション
- 18日 例月出納検査 (監査委員)
- 21日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会定期総会 (議長)
- 22日 広報編集委員会 (校正)

- ◆議会広報編集委員会
- 委員長 小柳 聡
 - 副委員長 京極 幸村
 - 委員 加藤千代美
 - 伊藤 敦朗
 - 村井 昇
 - 伊藤 秋雄

コロナワクチンの接種が八郎潟町でも始まっております。接種人数が人口の7割を超えると感染拡大を抑止しやすい「集団免疫」に近づき、早ければ米国や英国は今夏にも7割に達する見込みです。人類にとって明るいニュースとなるのか。希望を持ちつつ、私ももう少し我慢の日々を続けたいと思います。(京極幸村)

編集後記

今年も暑い暑い夏の季節がやってまいりました。夏といえば、中学総体を初めとした多くの部活動が集大成の大会を迎えます。校舎やグラウンドから聞こえる子供たちの声は、不思議と僕ら大人にもエネルギーを与えてくれるような気がします。色々な状況が落ち着いたら、町民みんなで子供たちの大会の応援に行きたいことが、私の密かな野望です。